

1 研究主題

子どもの心にひびく魅力ある道徳の授業づくり
～道徳的価値の自覚を深める指導方法の工夫～

2 研究の概要

研究仮説

子どもをひきつける資料提示
話し合いを活性化させる発問後の手立て
価値に気づかせる板書

これら3つのことを工夫し、資料との比較を通して自己を見つめる場面を設ければ、子どもの心にひびく魅力ある「道徳の時間」となり、道徳的価値の自覚を深めることができるであろう。

3 心に響く道徳の授業「ベスト3」

【低学年 第1学年】

主題名：しんせつなところで 2 - (2) 思いやり・親切
ねらい：うさぎに優しくしたおおかみの気持ちを考えることを通して、周りの人に親切にしようとする心情を育てる。

資料名：「はしの上のおおかみ」

授業内容

- ・ペープサートを使ってT1・T2で役割読みする。
- ・おおかみの行動や気持ちを色カードで予想し、話し合う。
- ・中心発問でおおかみになって役割演技させる。



ペープサートで資料提示

【中学年 第4学年】

主題名：自分に正直に 1 - (5) 誠実・明朗
ねらい：「MVP」と、もてはやされたこうちゃんが本当のことを話すかどうか迷う気持ちを考えることを通して自分に正直に行動しようとする心情を育てる。

資料名：「ぼくはMVP」

授業内容

- ・導入でイチロー選手を使い「MVP」を説明する。
- ・中心発問で「みんなからMVPと言われたときのこうちゃんの喜び」を心情円板で表し、その理由を話し合う。
- ・「この後、こうちゃんはどうするか。」ワークシートに書く。



心情円板を使って

【高学年 第6学年】

主題名：公共のために尽くす 4 - (2) 公德心
ねらい：みんなのために危険な柵を直そうと呼びかける女子大生の気持ちを考えることを通して、公共物を大切に、進んでよりよい社会をつくらうとする態度を育てる。

資料名：「おみやげ」

授業内容

- ・女子大生と乗客の立場の2つのグループに分かれ、役割討議する。
- ・乗客の立場に全員が立ち、「乗客はどうか」話し合う。
- ・外国人がもらった「おみやげ」とは何か、ワークシートに書く。



価値に気づかせる板書